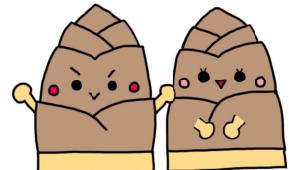




# たけのこだより



令和 8 年 1 月 30 日

毎日極寒の日が続くようになりました。日本列島を強烈な寒波が襲っています。まもなく立春を迎えますが、まだ春は遠いです。

たけのこ下の4号公園には、浅くて小さな小川があります。先日その小川に氷が張っていました。子ども達が恐る恐る氷の上に足を踏み入れましたが思いのほか氷が厚く、ちょっとしたスケートリンクとなっていました。子ども達は寒さの中でも元気に遊んでいます。現在インフルエンザやその他の感染症が流行っていますので手洗い・うがいを忘れず、予防していきたいと思います。

1月19日(月)～23日(金)にきりん組の電車体験を実施しました。目的は『公共機関を使って、社会に出たときのマナーを学ぶこと』です。たけのこバスで馬橋駅まで行き、そこから流山電鉄に乗って、終点流山駅までの約13分の列車旅です。馬橋駅に着いた子ども達は、電車を待つ間、待合室から線路を走る特急電車や貨物列車・常磐線快速電車や各駅停車などを見ては目を輝かせていました。また、子ども達の中には電車が大好きな「電車博士」がいたり、ポスターをじーっと見ている子がいたり、思い思いに過ごしていました。電車が発車すると座席に座り、じっと外を眺める子やひと駅ごとの駅名を確かめる子・運転席に興味津々な子などそれぞれ楽しんでいる様子が伝わってきました。感心したことは、周りの乗客の方々に迷惑をかけるような行動がなかったことです。子ども達は、これまでの経験から周りを見る力や判断力・そして社会性を少なからず身に付けてきたのだなあとと思いました。子ども達の成長を感じた行事でした。3月にはこあら組でも実施していきます。



## ●●● 2月の主な予定 ●●●

月	火	水	木	金
2/2	3 豆まき 子どもの森東屋修理	4	5	6
9	10 避難訓練 日本の誕生会 新入児入所説明会	11 建国記念の日	12 避難訓練	13
16	17 新入児保護者アセ スメントのため休戸所	18 誕生会	19 誕生会	20
23 天皇誕生日	24	25	26	27



※行事予定は変更する場合もあります。

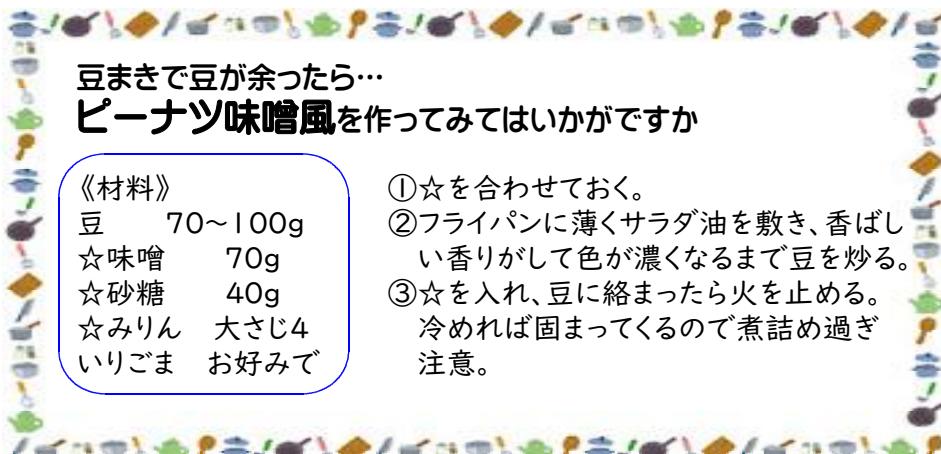
※週3日程度、心理師の島貴がおります。  
相談希望の方は電話でご確認ください。

## ●● 3月の主な予定 ●●

9日(月)～13日(金)	こあら組電車体験	9日(月)・11日(水)・13日(金)	避難訓練
13日(金)	金曜日通所年長児お別れ会	17日(火)・18日(水)・19日(木)	誕生会
20日(金)	<b>春分の日</b>	23日(月)～26日(木)	お別れ会週間
26日(木)	R7年度たけのこ最終日	27日(金)～4/5(日)	<b>春休み</b>

※3/30(月)～4/2(木)に **たけのこのホールと遊具室の開放**を予定しています。保護者の方の同伴が必要です。詳細はたけのこだより3月号やアプリにてお知らせいたします。

※新年度は、4/6(月)よりスタートの予定です。



### 評価アンケートご協力ありがとうございました。

評価アンケートへのご協力ありがとうございました。全部の設問にコメントを書いてくださった方もいらっしゃいました。大変嬉しいことです。保護者の皆様からのご意見を日々の支援の見つめ直しと今後の支援の改善に努めていきたいと思っております。アンケートの集計結果は3月にホームページ等で公表いたします。

まだご回答・ご提出いただいているご家庭の方も今からでも大丈夫です。設問が多く、ご面倒をおかけいたしますが、よろしければご協力ください。

### 今月の コラム



2月に入り、未だ朝の冷え込みが厳しく、霜柱が立ったり、公園の池にも氷が張っています。その現象を見つけると歓声を上げて大喜び。極寒ならではの遊びも楽しんでいます。

さて、今年度も残すところ2ヶ月となりました。一人ひとり個別支援計画に基づいて療育を進めてきましたが、年長組は進学への準備、卒所に向けての評価の時期、また年少、年中組は進級に向けての生活習慣の見直しや個別目標達成に向けて取り組んでいます。そんな中で、子どもたちから学ぶことも多く、気づきや発見の毎日です。幼いながらもいろんなことを感じながら生活している子ども達。感情を真っ直ぐ全面に出すことができる子、控えめで周りの様子を見ながらタイミングを図っている子、心を許している保育士には活発にアプローチできる子と様々ですが、その日の体調や気分、大人の顔色も敏感に感じとり、言動に移しているのは確かです。子どももしっかり大人の性格を見ているのです。私たち大人もしっかりと伝えなければいけない時、ちょっと見逃してあげる時、十分甘えさせてあげる時等、状況に応じて勘を鋭く持ち、真摯に向き合っていきたいと思います。そして一年を通して出来るようになったことを振り返り、心から褒めてあげたいと思います。

副施設長／山野辺 愛子